

ガンマナイフ治療最前線情報

平成27年12月発行 第36号

ガンマナイフ放射線手術にて治療された頭蓋内神経鞘腫に関連した交通性水頭症
Park CK, Lee SH, Choi MK, Choi SK, Park BJ, Lim YJ.
Communicating Hydrocephalus associated with Intracranial Schwannoma
Treated by Gamma Knife Radiosurgery.
World Neurosurg. 2015 Nov 13. pii: S1878-8750(15)01520-X. doi:
10.1016/j.wneu.2015.11.006. [Epub ahead of print]

<目的>ガンマナイフ放射線手術(GKRS)は頭蓋内神経鞘腫に対する有効で安全な治療法として確立されている。

しかしながら水頭症を含め、GKRS後には深刻な合併症が起こりえる。

この疾患における病態生理や危険因子はいまだ十分に解明されていない。

この研究の目的はGKRS後の水頭症を引き起こす可能性のある危険因子を評価することである。

<方法>我々は頭蓋内神経鞘腫を治療するために GKRS を施行した 244 人の医療放射線手術記録を後方視的に再調査した。

以下のパラメーターが GKRS 後の水頭症に対する可能性のある危険因子として調査された：年齢、性別、標的体積、照射線量、摘出術の既往、治療計画、並びに腫瘍造影パターン。

腫瘍造影パターンは2つのグループに分けられた：グループ A（均一な造影）ならびにパターン B（不均一または辺縁の造影）。

<結果>244 人の内、14 人（5.7%）で交通性水頭症が発生した。

交通性水頭症は殆どの患者（92.8%）において GKRS 後 2 年以内に発生した。

腫瘍造影パターンを除いて調査されたいずれのパラメーターと水頭症の進行との間に著明な関連は認められなかった。

グループ B は単変量解析($p=0.002$)によって統計学的に有意な差を示した；この相違点は多変量解析においても有意であった($p=0.006$)。

<結論>水頭症は治療可能なので、GKRS 後の患者はこの異常の発生について密接に観察されなければならない。

特に不正造影パターンや嚢胞を伴う頭蓋内神経鞘腫の患者は注意深く観察されなければならない。

三叉神経痛の患者においては早期の放射線手術が上質な疼痛緩和をもたらす

Mousavi SH, Niranjani A, Huang MJ, Laghari FJ, Shin SS, Mindlin JL, Flickinger JC, Lunsford LD.

Early radiosurgery provides superior pain relief for trigeminal neuralgia patients.

Neurology. 2015 Nov 11. pii: 10.1212/WNL.0000000000002216. [Epub ahead of print]

<目的>我々は薬剤抵抗性の三叉神経痛に対する最初の外科的治療として定位的放射線手術(SRS) が施行された後の良好な予後に関連する因子を評価した。

<方法>薬剤抵抗性疼痛で手術がされていない121人(年齢中央値72歳)のすべてに、三叉神経痛の最初の外科的治療としてガンマナイフ SRS が施行された。

4mm 単一アイソセンターを用いて、患者は治療中の MRI によって標的三叉神経に平均最大線量 80Gy を照射された。

観察期間中央値は 36 ヶ月であった。

<結果>疼痛緩和 (バロー神経研究所[BNI]スコア I -IIIa) は中央値 1 ヶ月で 107 人 (88%) で得られた。

早期 SRS (疼痛発生から 3 年以内) を受けた患者は疼痛緩和までの期間が短かく (1 週間、 $p<0.001$)、内服不要な疼痛緩和期間も長く (BNI- I、 $p<0.001$)、満足な疼痛制御の期間も長かった (BNI- I -IIIa、 $p<0.001$)。

三叉神経痛診断後、1,2,3 年で SRS を行った患者と 3 年以上後に行った患者の無疼痛期間中央値はそれぞれ 68 ヶ月、37 ヶ月、36 ヶ月ならびに 10 ヶ月であった。

SRS 後最初の 3 週間で SRS に反応した患者は、より反応期間が遅かった患者に比べ完全疼痛緩和の期間が長かった($p=0.001$)。

15 人(12%)は SRS 後に新たな感覚障害を報告した。

<結論>難治性三叉神経痛の治療における最初の外科的治療としての早期 SRS は晚期 SRS と比べて、早く、良好なそして長期の疼痛緩和と関連していた。

<エビデンス分類>この研究は内科的に難治性三叉神経痛の患者における最初の治療としての早期定位的放射線手術が早く、良好な、そして長期の疼痛緩和をもたらすものとしてクラスⅣのエビデンスを示している。

~~~~~メモ~~~~~

もみのき病院 高知ガンマナイフセンター

〒780-0952 高知県高知市塚ノ原6-1

TEL : (088) 840-2222

FAX : (088) 840-1001

E-mail : mail@mominoki-hp.or.jp

URL: <http://mominoki-hp.or.jp/>

担当医 : 森木、山口      事務担当 : 蒲原